

# 東奥日報

2019年(平成31年)3月27日(水曜日) (18)

## 五戸町のバス待合所 改修検討内容を説明

八工大教授ら

五戸町中央商店街のバス待合所リノベーション(改修)に協力している八戸工業大創生デザイン学科の関係者が22日、同大で町の関係者らにこれまでの検討内容を示した。

待合所は旧五戸中央商店会館1階にあり、改修は地縁団体「銀座振興会」(福井義幸会長)が老朽化対応と商店街活性化を目的に計画。実施に町外の視点を取り入れるため、同学科へ協力を依頼し、昨年9月には1、2年生10人と学科長の高橋史朗教授、宮腰直幸准

教授が周辺でフィールドワークを実施するなど検討作業を続けてきた。

この日は、福井会長ら6人が同大を訪問し、高橋教授と宮腰准教授、1年生の安田文哉さんが、世代ごとの利用環境や動線に基づく設備の配置、町の情報を紹介するマップやショーケースの設置などの検討内容を説明。飲食物を提供する際の課題やインバウンド対策など、寄せられた要望についても話し合った。

同学科では今後も検討を重ね、5〜6月ごろには地元への説明を兼ねたワークショップを予定。改修作業は夏以降の着手を目標としている。



改修の方向性を説明する八工大の(右から)高橋教授と安田さん、宮腰准教授

福井会長は「よつやくスタートラインに立てた感じ。町民に親しまれるリノベーションになってほしい」と話していた。(斎藤義隆)

※ 「この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです」